

平成 19 年度 予算編成方針

わが国の経済動向は、「骨太方針 2006」において、「世界経済の着実な回復が続く下、平成 18 年度には企業部門、家計部門ともに改善が続き、平成 19 年度においては、自律的・持続的な経済成長が実現する」と示された。

新政権下でも、「歳入・歳出一体改革」において、プライマリーバランスの黒字化を平成 23 年度に目指し、達成するための財源不足額（16.5 兆円）のうち、14.3 兆円を「歳出の見直しで対応する」とされている。

一方、地方財源は、地方交付税関連収入の減額によって、伸びを見込むことが困難な状況となることが予想される。

また、「地方分権改革推進法」においても「財政健全化の努力を中長期的に維持・強化し、人口減少の下でも持続的、安定的に成長することを目指す」と示されたこともあり、今後、構造改革が本格的化して従来にも増して厳しい財政状況となることが想定される。

千葉県においても、歳入全体の伸びが見込めず、社会保障費などの義務的経費が大幅に増加して厳しい財政状況となることが想定されている。

このような経済状況の下で、本市の平成 19 年度予算は、「合併後初の通年予算を編成した平成 18 年度予算の翌年度の予算」でもあり、「より合併や行財政改革の効果・効率化」が注目される予算となる。

これまで、旧市町の時代から健全財政に留意しつつも、各種の生活関連施設の整備をはじめ、都市基盤の整備を推進するとともに、保健・医療・福祉、教育、環境などの各分野の施策を積極的に推進し、市民福祉の向上に努めてきたところであるが、歳出では、急速に進展する少子・高齢化の進展の対応に加え、国の制度改正に伴う市の負担増により社会保障費などの義務的経費が増加しており、さらには、既存公共施設の維持補修や耐震化など多くの財政需要が見込まれている。

また、歳入では、国の財政対策による地方財源の縮減や市税収入の伸び悩みが予想されている。

このように厳しい財政状況ではあるが、「旭市行政改革アクションプラン」や策定中の「旭市基本計画」に掲げる施策を着実に実施していきながら、合併後、新市の「均衡ある発展」と「速やかな一体性確立」、「住民福祉の一層の向上」などを基本方針として、平成 19 年度予算編成方針とする。

記

1. 「安全で魅力のあるまちづくり」として、旭中央病院アクセス道整備事業、飯岡海上連絡道路整備事業等による主要アクセス道路及び地域間連絡道路の整備、消防・防災対策による消防車両や救助工作車等の整備、バス交通の整備によるコミュニティバス等運行事業
2. 「快適でうるおいのあるまちづくり」として、環境衛生対策推進事業等の実施による環境保全対策の充実、市民のうるおいとやすらぎ場及び災害時の避難場所等多くの機能を持つ文化の杜公園等の整備
3. 「健やかでやすらぎのあるまちづくり」として、児童手当給付事業等による子育て支援体制の拡充や放課後児童健全育成事業の実施、高齢者への総合相談・マネジメント等実施する地域包括支援センター運営事業の開設
4. 「心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり」として、安全・快適な教育環境の充実を目的とした小・中学校大規模改造事業、いきいきとした学校生活を創造する課外活動支援事業の実施
5. 「活力と躍動感に満ちたまちづくり」として、安定した農水産業経営に向けた水田農業構造改革推進事業、畜産環境総合整備統合事業、地域水産物供給基盤整備事業の実施
6. 「共につくる夢のあるまちづくり」として、市民の行政への参画及び地域活動振興を図る事業の医療・食・交流の郷づくり事業、コミュニティ育成事業、地域振興基金積立金の実施

予 算 の 規 模

(単位:千円)

区 分		平成19年度	平成18年度	増 減 額	増 減 率
		当 初 予 算 ①	当 初 予 算 ②	① - ② ③	③ / ②
普 通 会 計	一 般 会 計	25,070,000	24,180,000	890,000	3.7 %
	小 計	25,070,000	24,180,000	890,000	3.7 %
特 別 会 計	国民健康保険事業 (事業勘定)	8,064,000	6,966,000	1,098,000	15.8 %
	国民健康保険事業 (施設勘定)	72,400	69,600	2,800	4.0 %
	老 人 保 健	4,438,000	4,471,000	△ 33,000	△ 0.7 %
	介護保険事業	3,227,920	3,047,030	180,890	5.9 %
	下水道事業	757,000	778,000	△ 21,000	△ 2.7 %
	農業集落排水事業	52,172	48,590	3,582	7.4 %
	小 計	16,611,492	15,380,220	1,231,272	8.0 %
企 業 会 計	水 道 事 業	(収) 1,660,708	(収) 1,690,720	△ 30,012	△ 1.8 %
		(資) 596,647	(資) 480,295	116,352	24.2 %
	小 計	2,257,355	2,171,015	86,340	4.0 %
	病 院 事 業	(収) 30,250,909	(収) 29,275,360	975,549	3.3 %
		(資) 3,026,502	(資) 4,008,749	△ 982,247	△ 24.5 %
	小 計	33,277,411	33,284,109	△ 6,698	△ 0.0 %
	国 民 宿 舎 事 業	(収) 200,719	(収) 218,516	△ 17,797	△ 8.1 %
		(資) 123,149	(資) 9,192	113,957	1,239.7 %
	小 計	323,868	227,708	96,160	42.2 %
企 業 会 計 合 計		35,858,634	35,682,832	175,802	0.5 %
合 計		77,540,126	75,243,052	2,297,074	3.1 %

※ 企業会計欄における(収)は収益的支出、(資)は資本的支出である。